

# 財団法人名取市文化振興財団

## 趣意書

今日、我国が経済的に豊かになり、国民生活が向上してきたことに伴い、人の価値観も物の豊かさから心の豊かさへと変化し、文化に対する期待と関心はますます高まりをみせている。特に芸術文化の面では、現在多種多様な市民の文化活動が展開されており、さらに最近では余暇時間の拡大等に伴い精神的豊かさを求める人々の芸術文化への関心は、これまでの「鑑賞型」活動から「参加・創造型」活動へと質的転換を生み出すとともに、より専門化・高度化した芸術文化活動へと変わってきている。そもそも、文化は人が人として生きることの証であり、人間の根源的な欲求であってそれは人々の生活に潤いと活力をもたらすものである。そのような観点からも、文化創造の担い手はあくまで市民自身で各人の主体性によるものである。行政の役割は、市民の自主性・自発性を尊重し、自由な発想を活かし文化活動を側面から支援するといえる。

一方、市民のあいだに文化活動への意欲を喚起し気運を醸成していくためには、一歩進めて優れた芸術鑑賞や文化的イベントの実施面で、市民に新たな感動を与える機会を積極的に提供していくことが重要な課題となってきた。しかしながら、市民の多様な文化のニーズに応え、多彩な文化振興の事業展開を行っていくうえで、そのすべてを市の行政が直接的に対応することには、現行制度上おのずと限界がある。

そのような観点からも、市民の意義変化に機敏に応え、創意と工夫を結集し、自由で柔軟な発想による活発な事業の展開が必要である。

以上の認識の上に立ち、利用者である市民自らが愛着を抱きしかも容易に利用できるようにするため「文化の裾野を広げ地域文化の創造と振興に寄与する」ことを目的として、ここに「財団法人名取市文化振興財団」を設立するものである。